

寝

ませ

ム

～先輩睡姦～

のらまに



『やってやる！』
俺はそう決意をして家を出た

学校に好きな先輩がいる
告白はした：でも振られた
それが1週間前のこと

勉強に集中したいからと言っていたけど
先輩に好きな人がいたのは知っていた
だけど諦められる訳がない

先輩は俺のものだ：：
心がまだ奪えないなら
身体を先に奪ってしまえば良い

—— 悪魔の囁きだった。

振られた日にネットで
強力な睡眠薬を購入し
便利な社会になったもんだな
と笑みを浮かべた

家に届くまで2〜4日ほど掛かるため
その間に計画を練った

先輩に会うのは気まずいが委員が同じ為
ほぼ毎日会っている

時間帯やどうやって睡眠薬
を飲ませるかなど試行錯誤した

悪い考えをする時は何故
心が躍るのだろうか……不思議だ

～土曜日の朝～

ついに決行日だ
大丈夫、うまくいく……

興奮して昨日は
あまり寝れなかったぜ

先輩には委員の仕事があるからと
学校に来るように伝えてる

……来た。

ごめんごめん
待った？

ううん、大丈夫
俺も来たところ
それじゃ、行こうか

そうだね
さっさと済ませて帰ろう
それで何するの？

ああ、資料整理みたい
午前中には終わりそうかな

なるほどー
……の部屋？

「こ」みたいたね



この部屋は普段でも人が来ない
休日なんて人が来るわけがない場所

今日のステージなのだ

俺は部屋のカギを開けて
ソファに腰をかけた先輩に
飲み物を渡した睡眠薬入りのね

あ、これ
どうぞ。

ん？ありがとう。
温かいの飲みたかったの
(ゴクゴク)

さてと、始める前に
俺、トイレ行きますね

はいはい
行ってらっしゃい

さっさと帰るわ

飲み物を飲むように
誘導する前に飲んでくれたので
効果が出るまでトイレで時間潰し

大体10分前後で効果がある
気持ちいを落ち着かせるには
ちよつどいい



.....
ちよつど、そろそろかな



花火

ゆっくりと扉を開けた……

そこにはソファに横になっている
先輩の姿があった

まだ効果が薄いのか
「ううん」と言っ
声が聞こえる

しっかりと効果が出るまで
部屋の片隅で先輩の姿を眺めた

すぐにでも襲ってしまいたい
欲望を抑えじつくりと舐め回す
ように視姦した

太ももがエロく
少しパンチラしていて
俺は今までにない程に興奮していた

.....。

今からこの身体を俺のものに出来る
はやる気持ちを抑え
俺はゆっくりと先輩に近づいた



先輩？
大丈夫ですか？

んー。
すうーすうー

おー……。
おー……。
おー……。

寝たかな。

んんん



声をかけて寝てるのを確認した

心の甲で「ぶっ」と叫んだ

ゆっくりと先輩の身体に手を伸ばした
興奮してなのか、緊張してなのか
分からないが手が震える

まずは太ももから……
ゴクリと生唾を飲み込んだ

うん

……先輩の太ももは
スベスベで柔らかく触っている
だけで心地よかった

はあはあ……
最高だ……

先輩に触れたことで
興奮が増したのか
ズボンがはち切れんばかりに
膨れている

俺は先輩の身体を
触りつつゆっくりと服を
脱がしていった

ううん

耳で聞こえるくらい
鼻息が荒くなっている
のが分かった

ふうんっ……
んふう……

触っているだけで
気持ち良い……

はあ……
はあ……

ううん

それじゃ……
先輩の全部
見せてもらいますね

はあはあ……
最高だ……

寝ている人の服を脱がすのは
大変だと思い

起きないと分かっているでも
起きないでくれと願ってもいた

興奮しつつも着々と
脱がしていく

ううん

俺は先輩の体勢を変えて
最後に可愛いブラをずらし
生おっぱいを拝見した



アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

はあはあ
すげえ……

とても綺麗な
おっぱい……

ふん

ぷるん

ぷん

やつべえな
初めて見たけどたまんねえ

ふん

張りがあってピンク色の
乳首が少しゴンゴ
上を向いてくる

俺は初めて触ったおっぱいに感動しながらスカートをめくった

おっぱい…
やわらけえ

はあはあ…
ずっと揉んでいたい

可愛い縞々のパンツが
あらわになり俺の股間も
パンパンだ

んんん

ふんん

んんん

んんん

先輩、可愛いパンツ
着けてるんですね

少し汗ばんでる……
とても良い匂いが
また俺を興奮させた

やわらかい太ももを
撫でながら股間にゆっくり
と顔を近づけた

うん

うん

うん

うん

うん

フェロモンと言いつつもものなのか
……分からないが
最高の気分だ

俺は興奮しながらパンツを
ゆっくりと脱がした

震えながらも手「ずる」となく
スルスルと脱がせる「じ」と
が出来た

んんん

んんん

んんん

はははははは……

んんん

んんん

ゴクリっ

初めて見るマスコに
思わず生唾を飲み込んだ

ぷんぷん

んんん

んんん

先輩の少しグロくて
ピンク色のマスコに俺の
チンコが入ると思うだけで
勃起が半端ない

んんん

んんん



すぐにでも挿入したいが
ちやんと愛撫して濡らした方が
良いとエロ本にも書いていた

あぁっ

どっ

俺はゆっくりと顔を近づけ
先輩のマッコを下から上にと
舌を動かし舐めた

マッコ

アハッ

アハ

アハ

初めて舐めたマッコの味は独特で
酸っぱいような苦いような感じだった

俺は初めて味わうマンコを
ぐちゅぐちゅと音が出るくっくっ
舐め回した

眠っていても身体は反応するのか
敏感な部分に舌が触れたり
吸ったりするとビクっ！ビクっ！
と動いたのが分かった。

その反応が楽しくて
夢中でクンニを続けた

ビクッ

あぁっ

ビクッ

アッ

アッ

ッ

ッ

ビクッ

俺の唾液だけでない
先輩のマン汁が溢れて
きているのが分かる

その汁を音を立てながら
じゅるじゅると吸い付いた

味わうように先輩の体液を
飲み込んで口の中いっぱい
先輩を感じた

ビク

あぁ

ビク

アッ

アッ

ゴ

ゴ

ビク



アキナ

アキナ

アキナ

俺は息を荒くして
チンコを取り出した

はあっ…
はあっ…

ガマン汁でヌルヌルに
なっている

はあっ

アハハ

アハハ

ムムム



ゆっくりと先輩のマンコに
勃起チンコを近づけた

しっかりと濡らしたのに処女なのか
キツキツで全然入らない……

強引に少し入れたが行き止まりがある
多分……処女膜なのだろう

ぐぐぐ

アハハ

アハハ

ムムム



一気に押し込まないとこれ以上は
入らないだろうな……

起きないと思うが祈りつつ
処女膜を破るために
強めに押し込む決意をした

深呼吸をして……

すっすっはぁっ

ズンズン

アハハ

アハハ

ムム



はっはっはっ!

はっはっはっ!

はっはっはっ!

はっはっはっ!

はっはっはっ!

ズボーン!

ヌチヌ

ヌチヌ

はあはあ……
入ったあゝ

チンコが干切れそうなくらい
ギチギチに締め付けられる

これが先輩の中の感触……

ヌルヌルとした体液と
チンコに伝わる先輩の温かい
体温が気持ち良い

ズン

ズン

ズン

ヌチヌ

ヌチヌ

ヌチヌ

ズン

処女だった先輩はマンコから
出血していた

先輩……くっくっ
気持ち良いですっ

処女膜を破ると血が出るのは
知っていたが……
実際経験すると少しびびった

先輩の初めて
ありがとうございます

グッ

ムムム

グッ

ヌチヌ

ヌチヌ

ヌチヌ

ゾゾゾ

マンコに入れた余韻と感動に
浸っていたが
ゆっくりと腰を動かす

ズン

くっくっくっ
はあ……はあっ

ズン

ギチギチにチンコに絡みつぎ
少し動くだけで
射精してしまいそうだ

気持ち良い……
最高だ……

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

気持ち良過ぎて腰が段々と
速くなっていくのが分かった

射精感がゾクゾクと上がって
きているのが分かる

そろそろイキそうだと分かって
腰の速度もどんどん上がる

はあっ
はあっ……

ゾクゾク

ズン

んん

んん

んん

んん

んん

んん

くっ……はぁっはぁっ
ぶっ……はぁっはぁっ

先輩っ……！
そろそろイキますっ……！

「のまも中にヨッパ
っですよねっ……」

何も言わないって事は
オツケーって事で……

ゾクゾク

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



ビクッ
ビクッ

イクイクッ!!

ビクッ

ヒクッ
ヒクッ

……あ……あ……
……ッ……ッ……

ヒクッ

ヒクッ

ヒクッ

ヒクッ

ズズズ

ズズズ

ズズズ

ズズズ

我慢してた分、大量の精液が先輩の中にぶちまかれた

はっあはっあ……

はっあはっあ……

ビクン！ビクン！と何度も脈打った

はあ……はあ……

ズズズ

ズズ

ズズズ

ズズズ

はあはあ……先輩
最高の気分です……

先輩も気持ち
良かったですよ……

ズク

俺も気持ち良かったし
それにまだチンコがギンギン
なの分かりますよね

ズク

ズク

ズク

ズク

「そのまま2回戦いきましょー

ズク



んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

チンコ抜かずに先輩の
体勢を変えたら精液がマンコから
溢れてきたのが分かった

自分でもビックリするほど
大量に射精したから
腔内は俺の精液が行き場を
失ってるんだろっかな

チンコは変わらずゴーンゴーンで
ギンギン状態だ

んんん

んんっ

んんん

んんん

.....
.....
.....
.....
.....
.....

ゴポポ

ゴロ

マチュ

マチュ

眠っていて意識は無いが
身体は反応するよううで
少し火照っていてビクビク
と動いている

それじゃ……
続きしますよ先輩

ビク

んんん

んんん

んんん

ズンズン

ズン

マチュ
マチュ

ゆっくると
腰を動かしてはじめてたら
マングロ隙間から精液が
あふれ……出るわ出るわ

動くたびにぐちゅぐちゅと
マンコから音がなる

んんっ…
くうっっ

んんっ

んんっ

んんっ

んんっ

先輩のマンコを味わうように
腰を動かし続けた

ズプッ

ズプッ

締め付け過ぎですよ…
先輩っ

先輩っ先輩っ…
好きですよ先輩っ

くうっ…
はあっはあっ

先輩の身体もマンロも
最高ですっ

もっともっと
愛してあげますからね

んああっ…ふっ…
はあっ…はっ…

はっはっ
はっはっ
はっはっ

んんん

んんん

んんん

んんん

処女だったキツキツマン「
に俺の想いを込めて
何度も打ち付けた

ぎゅっぎゅっ
っどマン「が締まって
俺の精液を搾り取るっ
してるようだ

…先輩っ
またイキそうですっ！

はあっ…
んはっ！

絶頂に近づくとつれ
どンドン腰を動かす速度が
上がった

……んああっ
ダメだった！

奥の奥まで
獣のように腰を振って
快楽に走った

しっかりと孕んで
くださいよっ！
ああ〜イクイクっ！

んぐんぐん

んぐん

んぐん

んぐん

んぐん

んぐん

んぐん

くっくっくっ

ああああ



2回目の射精だったが
衰えるどころか
1回目以上に出てる感じがした

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

チンコは抜かず中出しの余韻に
浸っていた

ゴッ

頭の中に罪悪感など無く
充実感があった

んんっ

ゴッ

チンコの方は
2回も出したのにまだまだ
フル勃起継続中である

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

ゴッ

まだまだだ……
これからですからね
孕むまで中出ししますよ

そう言っと一度チンコを抜いた
どろどろの精液の中に血も少しだけ
混じっていた

童貞卒業と処女を貰ったことを
感じつつ体位を変えて
3回戦目に突入した



アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

ゴゴ

ゴゴ

アハハ

アハハ

まんぐり返しのような体位にし
先輩のマンコが見えるようにした

中は俺がさっき出した
精液があふれかえっているのが
わかる

俺は自分の出した精液の
量に少しびびりつつ
こんなにも出るんだなっと関心した

アッ

ポロネ

ポロネ

ポロ

アッ

アッ

アッ

アッ

んんん

んんん

ふんっ……ん……

んんん

精液でぐちよぐちよのマンコに
ふたをすするようにチンコを挿入した

先輩くそんなにごぼしたら
勿体無いですよっ!!

んん

んん

んん

んん

んん

んん

キツキツマンコは健在で
チンコを押し出すかのよう
絡みつくように締め付ける

んんん

んんん

んんん

脳が溶けそうなほどの
気持ち良さはオナニーでは
絶対に味わえない

きんきん……
はあ……はあ……

挿入するだけで
背筋をゾクゾクっとさせる
締め付けが半端ない

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

めちやめちや
気持ち良いわ

はあっはあっ……

はあっはあっ

はあっはあっ

はあっはあっ

んはあっ……
最高っ……気持ち良っ

もっ……っ……
先輩の中をっ

はあっはあっ

はあっはあっ

はあっはあっ

はあっはあっ

はあっはあっ

……っ……っ……っ……

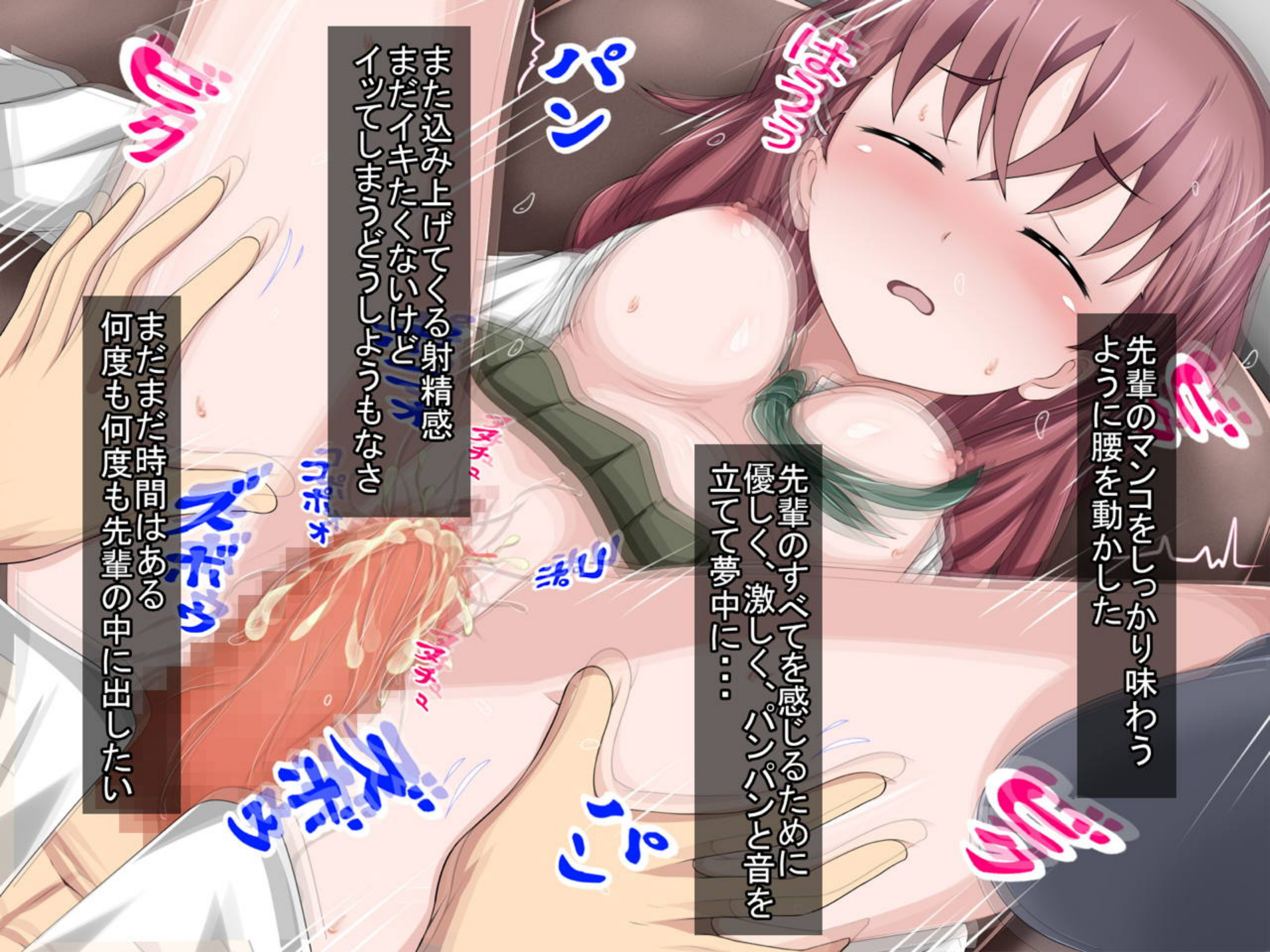
はあっはあっ

先輩のマンコをしっかりと味わう
ように腰を動かした

先輩のすべてを感じるために
優しく、激しく、パンパンと音を
立てて夢中に……

また込み上げてくる射精感
まだイキたくないけど
イッてしまおうしょうもなさ

まだまだ時間はある
何度も何度も先輩の中に出したい



気持ち良いですよ
先輩っ！

今までの想いを全部のせて
中に出したい

先輩を孕ませたい
俺が先輩の一番だい

……先輩っ
また出ますっ！

アッ

パン

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

はあ……はあっ
俺の思い……届きましたか？

3回目の中出しをした
受精するように孕ませるために
思いを込めて中に

ちやんと……
孕んでくたせよう

うん

うん

うん

うん

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱん

んん

んん

先輩と繋がったまま俺は
また腰を動かし始めた

勃起はしていたが
まだ射精するかは分からなかったが
もっと出したいと感じ

無我夢中で腰を振った

はん

はん

はん

ぱん

ぽん

ぽん

はん

はん

はあ...はあ...はあ...



心光

心

光

心光

光

光

心光

心

心

何時間経っただろう
俺は眠っている先輩に
中出ししまくった

確実に孕んだと思う

休憩中もチンコは抜かず
中に挿入したままで
何度も中出しした

充実感に包まれつつ
ゆっくりとチンコを抜いた

まひん

まひん

まひん

まひん

まひん

まひん

まひん

まひん

まひん

思わず声が出るほど
大量の精液が溢れて出た

ははっ…
っすっげえ…

起きるまで続けようかと
思ったが俺の良心が働いたの
だろう片付けることにした

中に出した精液もしっかりと
拭いた…多分残ってるだろうが

まひん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



元気な赤ちゃん
産んでくださいね

【孕ませライフ】

～先輩睡姦～

END